

分野 介護福祉  
ソーシャルケアサービス  
研究テーマ 認知症ケア、家族介護者支援  
キーワード 介護福祉教育、高齢者虐待の防止、  
佐賀県地域共生ステーション、認知症ケア、  
専門職のキャリア形成、家族介護者支援  
所属学会等 日本社会福祉学会  
日本認知症ケア学会  
日本介護福祉学会 等  
特記事項



URL : <http://er.nisikyu-u.ac.jp/DYU0160?ri=2>

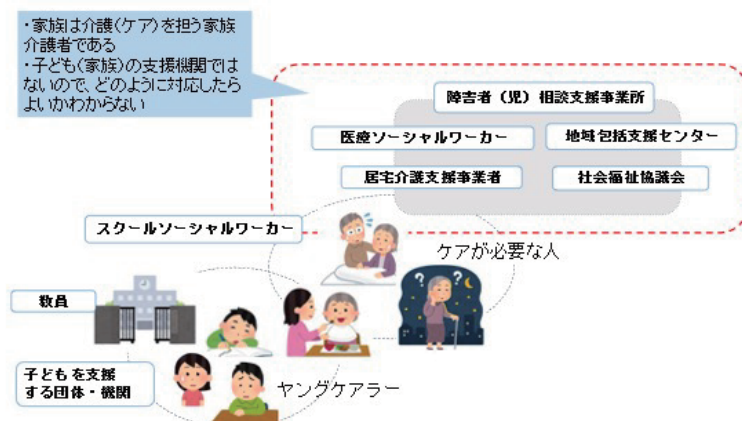
【佐賀県におけるヤングケアラー支援に向けた福祉,介護,医療,教育等の連携支援に関する実態及び課題に関する調査】



ヤングケアラーとは、「大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある（子ども家庭庁 支援局 虐待防止対策課：令和5年）」ことをいいます。

国の調査（2020年度、2021年度）では「ケアをしている家族がいる」と回答したのは、小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%でした。また佐賀市の調査（2022年）では、「ケアをしている家族がいる」と回答した場合、「いない」と回答した人よりも健康状態や学業の状況が「よくない」割合が高く、支援を要する児童、生徒の存在が見えてきました。

そこで、本研究では、ヤングケアラーがケアをしている病気や要介護状態にある家族（親、祖父母、きょうだい）への支援を担当する医療・福祉職が、家族介護者およびヤングケアラー支援について、どのように取り組んでいるか、実態の把握と課題を明らかにすることを目的に、佐賀県内の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、障害者・障害児相談支援事業者、医療ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーに、アンケート調査を行いました。詳しい結果はポスターとして掲示しています。




## 【 研究活動の紹介 】

テーマ：介護の社会化の展開と到達度  「職業としての介護（ソーシャルケアワーク）」の発展について、様々な視点で調査研究に取り組んでいます。


2008～2009 研究プロジェクト「高齢者虐待防止ネットワークさが」成果物「介護サービスの改善を視点とした高齢者虐待防止策の検討－介護従事者を対象としたアンケート調査の分析から－（共著）」,2010, 介護福祉学,日本介護福祉学会.

 介護職員の「改善した方がよい」と考えるケアの内容を調査


2011～2012 研究プロジェクト「佐賀県福祉の未来を考える事業（県委託）」、成果物「佐賀県における共生型ケアの展開と課題－佐賀県地域共生ステーションへの聞き取り調査から－（単著）」,2014.介護福祉学,日本介護福祉学会.

 県内各地で始まった宅老所の取り組み、一つ一つは小さな取り組みでも、佐賀の地域ケアを支える大切な場所、その役割や特徴を調査しました。

2013～2015 研究プロジェクト「生活支援専門職のキャリア形成介護、保育、栄養領域の人材育成」成果物「介護福祉士のキャリア形成の要因およびプロセスについての一考察－養成校を卒業した介護福祉士へのインタビュー調査を通して－（共著）」,2018,介護福祉教育.


 女性の割合が高いという共通点がある栄養、保育領域の先生方と一緒に、専門職のキャリア形成の特徴や課題を調査しました。

2017～ 実践活動「認知症カフェにおける家族介護者支援」成果物「認知症カフェにおける家族支援の機能と役割－支援記録の分析を通して－」,2024. 西九州大学健康福祉学部紀要.

 集いの場である認知症カフェで、悩みを聞いたり、創作活動を通して交流したりしています。



2019～ 調査研究「介護の社会化の進捗状況」成果物「文学作品を通して考える介護観の変遷～介護の社会化を再考する～」,2020,日本生活支援学会誌. 「介護保険制度による介護の社会化の進捗状況に関する文献検討－家族支援ニーズとの関連－（単著）」,2023,西九州大学健康福祉学部紀要.

 コロナ禍で様々な調査研究活動が制限されました。そこで、小説や文献を収集、「社会における介護へのまなざしやその役割の変化」を分析しました。

## 【 高校生のみなさんへ メッセージ 】

介護（ケア）は、相手の日常生活に寄り添い、よりよい人生を送るお手伝いをする営み。「よりよく生きるとは？」について考える機会も多く、奥深い領域です。